

2022.03.20. 敬虔な男性 Mac 牧師

おはようございます。JD 牧師の代講です。カルバリーチャペル・カネオへのライブ配信へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝があります。第一礼拝は、通常「聖書預言・アップデート」に専念し、第二礼拝は「聖書の学び」です。しかし、今日は2つの話題性ある学びをします。その前に、心を捧げ一緒に祈りましょう。

天のお父様。あなたの聖霊のご臨在なくして、今日ここで何事も成し得ません。どうか私たち全員に降り注ぎ、あなたの真理の御言葉が教えられる通り私たち一人ひとりの上に留まって下さいますようお願いいたします。私たちの耳と心を開き、あなたの御言葉を聞き、養っていただき、それによって生き、それ故、自分自身に死ねますように。今、あなたの聖なるご臨在で私たちを祝福してください。私たちはあなたを愛しています。あなたが私たちの人生で、また私たちを通して成し遂げようとされていることに感謝します。救世主イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

さて、今朝の最初の学びのタイトルは「敬虔な男性」です。私が初っ端から、言い訳することをどうかお許しください。決して、自分が地球上で最も敬虔な男だと主張しているわけではありません。違います。全くもって違います。私は皆さんと同じように、多くの欠点や欠陥を抱えています。お～何ということか。私は、それらを正すため、一日中あらゆる瞬間、主が必要です。また長年に渡り、主が私に働きかけ多くの問題に対して勝利を与えて下さった事に感謝します。妻も感謝しています。ー(笑)ー

しかし私は、これについて話すのに最も敬虔な男になる必要はありません。私はただ、人の神がこのことについて、御言葉に従って語っておられることを知り、教えるだけでいいのです。それが神の御言葉に含まれていて、私たちは、敬虔な男性、夫、父親を構成するすべての属性を見ることができます。そのほとんどが、世間で言われる「男とはこうあるべき」というイメージに反します。今朝、私たちが取り上げるこのテーマは、よく聖書研究会や男性集会のような場で取り上げられるものです。通常彼らは、いくつかのパンフレットを配りこのシリーズをし、細かく記入し、小さなワークショップやグループで議論します。しかし私たちには、そんな時間はありません。約1時間ですが、神の祝福のもと、要点を得られるよう祈ります。このテーマをそのような場だけに限定してはいけません。実際、この話をするときは、この話をするという例外を除いて、関連するルールはないのです。それが重要です。こんにち、キリスト教において、神への信仰が全体的に大きく低下していることは多くの人が同意されるでしょう。男性に関しては、人間の見方は分断しています。そう思いませんか？ 敵は男性はこうあるべきだという姿を見事に描き出したために、男とは何か？ということが分断されたのです。その男性像が教会に忍び込んでいます。悲しいことです。多くの教会で、人間の世界観が支配しています。私たちが持つべき男性像は、神の御言葉の中に収められているんです。男性として、神の人としてのあるべき姿があるのです。それがどのようなものであるかを神の御言葉から知らなければ、男性であることが疑われるのです。そして私たちは、敬虔な男性、夫、父親になるチャンスはほとんどありません。クリスチャンであると主張するすべての人は、聖霊の力によってこれを理解し、これによって生きるよう努力せねばなりません。そのためには努力が必要で、神が私たちの人生で、また私たちを通して働いてくださるよう許可するのです。それは決して終わりません。聖書に登場する主な男性、敬虔な男性を論じるときに出てくるこれらの箇所を、ほとんどの人が気づいていると思います。聖書の中でいくつか指摘されている箇所があり私たちに詳細、最も神聖な人々の概要、行動の仕方、両命令、すべて神から与えています。そして信心深く、このいくつかを見ていきます。しかし、先に進む前に、神によると、そもそも男とは何なのかを定義してみましょう。

まず、人間は神に似せて造られたことは皆さん周知の事実です。その似姿が現実となり、形となって現れ、聖書の中で男性の特質を定義しています。男性の特質を定義するのは神であり、世ではありません。創世記 2 章全体を通して読むと、男性には特別な性質があることがわかります。ちなみにその 1 つが体格/体質です。それに気づいてますか？ 世はそうではないので、皆さんが気づかれるのを祈ります。かつて科学者たちは、男と女の間には生物学的な違いがあると信じていました。こんにち、そういうようなことを言う人は、まずいないでしょう。しかし男性の特質の役割は、そういう目的ある仕事をするために造られたと同時に、様々な権限と神に従う使命があります。ここまでよろしいですか？ 神に従うことは、確かに最も重要な属性です。しかしそんな目的のある仕事について、話を戻させてください。とりあえず強調しておきます。後で触れますので。忘れないでください。男性は働くために創造されました。聖書に従い、これがすべての敬虔な男性の目標です。もし、ご自宅の状況が違っていても、心を失わないでください。主があなたの人生の中心におられるなら、主はあなたのために覆い隠してくださるでしょう。私たちは皆、それぞれ異なる状況に置かれています。しかしこれが、神から授かった特質が求めるものです。神によると、男性として、よく見落とされがちながあります。それは、男性は自然に妻を欲するものだという事です。妻への自然な欲求です。このすべて、聖書に示されています。この全てが、全てのクリスチャンの基本であるはずで、あなたがクリスチャンでないなら、それが神の御言葉が仰ることだと知っておいてください。そしてそれが、私たちが従うものであることを。御言葉にはまだまだたくさんありますが、神から見た男性の姿の基礎固めとして、これだけでも十分であることを祈ります。さて 敬虔な男性とはどのような人か、という部分に入る前に、まず敬虔な男性の前提条件を調べるべきでしょう。「創世記 2 章 7 節」神の御言葉をお読みします。

創世記 2

7 主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。

ではそれが、敬虔な男性であることとどう関係があるのでしょうか。私の答えは、この節を読むと、私たちがここで見るイメージに基づきます。私が目にすることの 1 つが、男性が創造時に特権を得たであろう神との親密さがあります。分かりますか？ 私にとっては、それが多くを物語っています。神はただ人間に語られて、存在させられたからです。しかしここで、私たちが抱くイメージとは違います。私たちは、唯一無二な目的のために創造され、神の直接のご臨在の中で、完璧に、神によって形成されたのです。それこそが、私たちが男性として、神の直接のご臨在の中で、神の完全な御言葉による神の完全さの中に戻るべき場所なのです。分かりますか？ この記述がいかに親密かを見てください。

「神が命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。」それを考えてみてください。あなたに息を吹きかけたと誰かが言ったら、テキサス（遠方の意味）にいたとは思えませんよね。あなたの目の前にいたと考えますよね。その近さです。「そこで人は生きた者となった。」これが唯一の方法です。私たち男性が敬虔になるという希望を持つ唯一の方法です。すべてはここから始まり、終わります。このように、真の生ける神との個人的な関係が私たちにとって敬虔な男性に必須なのです。女性もですよ。しかし、この人間創造の記述で、このことを考えてみてください。それは、女性が男性に与えられる前に起こったことです。私についてきてください。これは、女性が男性に与えられる前の出来事で男性が創造され、神が息吹を吹き込まれ、男性は生きる者となった。これが、従うべき模範です。息子たちにも早くからこのことを教えておけばよかったと思います。神が最初、神が一番。それこそが、私たちが教えるべき模範なのです。今、私たちはよく分かったので、もっとうまくやるべきです。今日、私はそれを教

え、それが受け取られることを祈ります。そういう敬虔な男性、夫、父親でありたいと願い、神に寄り添い続けます。神を知りながら。これが私たちに必要なのです。そうすることで、神の人としての務めをきちんと果たすことができるのです。

キーワード：きちんと/適切な方法で

私たちには、自分自身を律するための適切な方法があるのです。私たちは皆、それを認識する必要があります。私たちの生活が、イエスを反映するものでなければなりません。早期の実現が必要です。早期に。このことを若い人たちにも教えねばなりません。彼らはそれを知る必要があります。これらのことは、特に第二礼拝「敬虔な女性」の教えと関連します。そうなんですよね～。(笑) 機会均等有罪判決です。(笑) しかし若い世代の皆さん、「詩篇 119 篇 9 節」にある次の御言葉を考えてみてください。お読みします。

詩篇 119

9 若い人はどうしておのが道を／清く保つことができるでしょうか。み言葉にしたがって、それを守るよりほかにありません。

誰の御言葉ですか？ 一神の御言葉です。誰がその御言葉ですか？ “イエス・キリストです。” イエスのご性格は、人間の基準です。なぜなら、主の基準は完璧だからです。私たちが墮落していても聖書には、多くの男女の敬虔な姿が記されています。その敬虔な性質の中に神の子たちが聖霊の御力によって示すべきいくつかの属性があります。もちろん私たちは失敗もしますが、それは言い訳ではありません。男性に関して言えば、これらは本当に重要です。というのは、神が私たちに置かれた立場だからです。その立場から、敬虔な性質がないと、男性は敬虔な夫、敬虔な父親としての務めを果たせないことが多いのです。それが現実です。これらを様々な形でアレンジすることができます。リストは非常に広範囲に及び、そのほとんどに入る時間はありませんが、私が信じる聖書の語る男性の敬虔な性質の本質を捉えたこれらの属性について、私たちが知ることができればと願います。事実、詩篇を続けて読むとこの聖句は、神の人が持つべき最も重要な特質を捉えています。そのことが敬虔な男性の生涯を通じてどのように作用するかを、A-Z 順に読み進めていくと実際に分かります。しかし、私たちは1つの大きなテーマに焦点を当てようと思います。「詩篇 128 篇 1-4 節」をお話します。神の御言葉をお読みします。

詩篇 128

1 すべて主をおそれ、主の道に歩む者はさいわいである。

2 あなたは自分の手の勤労の実を食べ、幸福で、かつ安らかであろう。

3 あなたの妻は家の奥にいて／多くの実を結ぶぶどうの木のようにあり、あなたの子供たちは食卓を囲んで／オリーブの若木のようにある。

4 見よ、主をおそれる人は、このように祝福を得る。

私たちはこれを見聞きしているのでしょうか？ 驚く事ではないですね？ 敬虔な男性は神を畏れます。この畏れは、文字通りのただの恐れではなく、私たちが持つべきものです。これは、神に対する畏敬の念、最高度の尊敬の念を表す恐れでもあります。私たちは、これが必要です。特に男性として、そう、すべての人のためなのです。しかし男性にそれがないと、多くの問題が発生し、現在も家庭内で支配され続けています。これが家庭で弱いリーダーにします。主を畏れることは知恵の始まりであり、神の知恵だからです。それを欠けば、あなたが望む世の知恵はいくらでも手に入ります。しかし、神の知恵がなければ、世の知恵は無に帰すこととなります。このような畏れの欠如のため、家庭は苦しんでいるのです。男とし

て、時に私たちは神について、この視点を失っているように思います。私たちが神を畏れないから。主への畏れは、主との歩みに反映されます。主を畏れる者は、世の中の人々が歩むような道を歩みません。違いがあります。少なくとも、あるはずです。「詩篇 128 篇 2 節」で主を畏れることが、私たちの仕事の繁栄につながる事がわかります。心情的に満足し、私たちが上手く歩む未来を手にしめます。全てが主を畏れる事から来ます。しかしその前に、私たちは、主の道を歩まねばなりません。これこそ、敬虔な男性がせねばならないことです。

質問：私たちはそうしているのか？ しているのか？

私たちが皆、主を畏れるよう祈ります。ただ教会に来るだけではありません。それは証明になりません。また、クリスチャンであることが、私たちが敬虔な男性にするものではありません。違いがあります。敬虔な男性は、創造主を敬い、創造主を第一に考えます。「マラキ書 1 章 6 節から 8 節」神の御言葉をお読みします。

マラキ 1

6 「子はその父を敬い、しもべはその主人を敬う。それでわたしがもし父であるならば、あなたがたのわたしを敬う事実が、どこにあるか。わたしがもし主人であるならば、わたしを恐れる事実が、どこにあるか。わたしの名を侮る祭司たちよ、と万軍の主はあなたがたに言われる。ところがあなたがたは『われわれはどんなふうにあなたの名を侮ったか』と言い、

7 汚れた食物をわたしの祭壇の上にささげる。またあなたがたは、主の台は卑しむべき物であると考えて、『われわれはどんなふう、それを汚したか』と言う。

8 あなたがたが盲目の獣を、犠牲にささげるのは悪い事ではないか。また足のなえたもの、病めるものをささげるのは悪い事ではないか。今これをあなたのつかさにささげてみよ。彼はあなたを喜び、あなたを受け入れるであろうかと、万軍の主は言われる。

この記述の中で、神はイスラエルの祭司たちが足の不自由な動物や病気の動物、つまり最も劣った動物、投げ捨てられた動物を捧げ、神の祭壇を汚していると仰っています。敬意がどのようなものかを知らないわけではないのです。お～彼らは知っていました。ただ、真の生ける神に対する敬意がなかったのです。彼らは主を敬っていませんでした。それが歩みの中に表れました。兄弟の皆さん、このことを心に刻んでおく必要があります。私たちは、主に最善を尽くしているのか、それともゴミくずを捧げているのか？ 私たちの時間に関して、自分自身を吟味する必要があります。自分の全ての時間が、自分のために費やされていますか？ その後 3 秒間、アーメンと言って立ち去る。私たちは、自分の生活にイエスを取り入れようとさえしているのでしょうか。こんな風に会衆席に座っていませんか？ 「早く終わらないかな？ 私がここにいるのはマルタのせいだ！」でしょう？ 私たちは、自分で聖書に時間を費やしていますか？ 男性として私たちは、本当に神に一番の実を捧げているのか、それとも腐った実を捧げているのか。神は私たちの心をご存知です。一日中、人を誤魔化すことはできます。神には出来ません。これは重要なことで、すべては私たち男性から始まるからです。仕事が邪魔になることは理解できます。忘れないでください。私は 30 年間、政府の傘下で費やし、数カ月単位で配属されます。お～待ってください。私は分かっています。しかし私は、主と共に過ごす機会を見つけたのでしょうか？ そうすべきでした。配属先が決まると、ちょっと楽なんです。あなたは毎日、主と共にあり、「主よ！お～私を家に帰してください。」しかし、私が話すのはそういうことではないんです。私が何を話しているか分かりますね？ 神なのか、スポーツなのか？ 神なのか、フィットネスなのか？ 神なのか、_____か.....何でも続けられます。教

育が邪魔をすることもあります。友達が邪魔になることもあります。家族が邪魔になることもあります。神よりも、私たち人間が目にするのは何なのか？ すべてのことにおいて、神が第一でなければなりません。私たちは、神に敬意をもって接しなければなりません。神に文通相手のように遊んではいけません。神は御座に座っておられ、私たちは塵にすぎません。私たちは、すべてのことにおいて、主に仕えなければなりません。私たちが上司に名誉や尊敬の念を抱くのは、おかしな話です。でしょう？ 考えてみてください。上司が来たら、「はい！ボス！！」と姿勢を正す。でしょう？ 上司が来ると人はパニックになります。「ボスだ！ボスだ！ボスが来る！」レッドカーペットを敷き、ディナーで一番大きなステーキを出す。彼の隣に座りたい。しかし、主への奉仕となると、ごみクズです。人間は罨です。神に仕えることがなぜか二の次になり、それが私たち全員に対する非難です。「コロサイ人への手紙 3章 23-24節」
神の御言葉をお読みします。

コロサイ 3

23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。

「主に対してするように」何をするにも、主に対してであると認識する。あなたは神を代表しているのです。私は神を代表しているのです。

24 あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

その行為が、イエスを示すことである限りどうぞしてください。自分本位になると、全くダメです。もう一度、男性方、私たちは、すべてのことにおいて、イエスに仕える必要があるのです。イエスは何よりも私たちの榮譽にふさわしい方です。こんにち、私たちがここで行うすべてが、千年王国において、私たちに影響を与えるのは言うまでもありません。前にも言いましたがこれからも言い続けます。それで私たちの目を開き、私たちは、王国、千年王国の概念を持つべきです。そうすれば、私たちの歩みは変わるはずで、ほんの少しでさえ、メリットだと思います。千年王国の概念。千年王国には、信じようと思えば、建造物が存在します。こんにち、私たちがこの地上で何をするかが、いろいろな意味でそれを決定します。ある時、誰かに聞かれ、コメントされました。私が千年王国について教えたのです。私はコメントを見ませんが、妻は見ます。彼女はそれを見て、こう言うのです。

「ねえ、...建設的な批評であれば 私にミスがあったはずで、そのつもりはないのですが、もしそうならね。こうなります。「お～再指摘しないと。」で、その意見にも感謝します。しかしこの話は、妻が言いました。「ねえ、これあなたに言わないと。」ある人がコメントでこう言ったんです。「我々は実力主義なのか？」笑いの絵文字をたくさん入れてありました。「この人誰？」

実力主義: 私たちは、実力主義なのか？

違うよ、友よ、私たちは名誉ある制度ですよ。その榮譽はすべて神のもので、私たちがすることはすべて、はい、勘定されます。私たちがしないことと同様にね。このことを理解すれば、神を真剣に受け止める説得力が増すはずで、このようなことは、すべて結婚前に起こるということに注意してください。聞いていますか？ これが理想的な方法なのです。敬虔な男性は、敬虔な夫の前に生じます。皆さん分かりますか？ 私はそれに従えばよかったと思います。自分がそうしていたなら、真の生ける神にどれだけ近づけたら、私は想像が出来ます。自分を責めるようなことはしませんし、他の人にもしません。しかし、私たちはそれを他の人々を教え、警告するために使うべきです。特に、完璧な模範に従う機会のある青年たち、神の若者たちに。あなたがたの人生は？ お～何と言う事。神の完璧なご計画に従うこと

で、とても豊かなものになるのです。このことが、私が話した仕事の話に戻ります。目的を持って仕事をする。[箴言 24 章 27 節] 神の御言葉をお読みします。

箴言 24

27 外で、あなたの仕事を整え、畑で、すべての物をおのれのために備え、その後あなたの家を建てるがよい。

このことを踏まえて、話を進めます。言い換えれば、敬虔な男性は、妻に約束する前に、生活に落ち着くべきである。生活。それが提供し、その後、家が建つ。この神の知恵を聞いてますか？ 皆さん聞いているのを願います。この完璧な模範が守られなかったために、どれだけの悲惨な結果を見たことでしょうか。まずは整理整頓をする。それからです。自然界はそうなってませんか？ それを見たことがありますか？ 鳥は巣を作り、時間をかけて、素敵で快適な巣を作る。それから口笛を吹いて外に出て行きます。(ピヨピヨピヨ～) —(笑)— でしょう？ 私たちは、自然から多くを学ぶことができます。もっと深いところにあるんです。また、男性はそのような優先順位を持つべきだとも語られていますからね。意欲的な稼ぎ手。働く意欲があり、準備する。結婚前にその務めを理解すること。今の若者は、先輩の末路に目を向ける人が多すぎます。そして今、それを求める。聞いてます？ 資格権利ですって？ 彼らは今それを望んでいるのです。彼らは、そこに至るまでにかかった 30 年、40 年の歳月を経たくないのです。電子レンジの中で生活しているのですね。ピッ、ピッ、ピッ。すぐに出来上がり。そういうわけにはいきませんね。私たちは、そういう設計はされていません。だから、今の世の中、いろいろなことが起きているんです。資格権利で対応することが、混乱を引き起こします。みんな、何もしない言い訳を探しているんです。叫びながら行進した時間は数え切れない。インタビュアーはその人たちのところへ行く。思わず笑ってしまうようなものもあります。「それで何のためにここに？」「えーと、そうだな、そうしないとな。」何だって？ なぜここにいるのか分かってるのですか？ 彼らが分かっているのは、仕事をしたくないということです。悲しい事です。世は人々に夢を売っています。悪いことに、多くの場合、教会もそうしています。夢。アメリカンドリームは神のご設計ではないのを理解ください。それが私たちの問題の一部なのです。このアメリカンドリームが。神は、シンプルに生きなさい、謙虚に生きなさいと仰いました。だからといって、高収入の仕事やキャリアをあきらめる必要はありません。その勤勉さが富につながるなら、お～何と言う事！ 神はそれに悲しみを加えられません。しかし、神の御言葉はこう言っています。

"富を得ようと苦労してはならない" (箴言 23:4)

それには理由があります。なぜなら、あなたはお金を追いかけながら、神に従うことは決して、殆どないからです。では、この全てから、敬虔な男性について話しました。このため、敬虔な男性が、敬虔な夫に移行するための模範になります。若者がこのような背景を持つことで、敬虔な夫になるのが、どれほど楽になるか。大変楽です。もちろん、完璧でないにしても。私たちは妻たちを対応せねばならないのです。—(笑)— しかしそれが助けるのです。ここで妻たちの登場です。「エペソ人への手紙 5 章 25 節」にある有名な一節です。お読みします。

エペソ 5

25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。

今や、もっと親しみやすいです。私は神と長い間一緒にいるので分かります。私のように投げやりになっ

て、敬虔な男性、敬虔な夫、敬虔な父親に一気になろうとしないでください。お～何という事でしょうか。JD 牧師がよく話すのが、この一節です。結婚式をするとき、JD は、私たち男性や結婚する人たちに、これが実現できる唯一の方法は聖霊の御力であると言います。妻への愛情があるかないかで、その人の内にある霊がわかります。これは、数年前、私をバラバラに砕いた節です。それを見て、いわば引き剥がすかのように、私を引き離しました。そして感謝しています。自分がいかに愛のない男であることを思い知らされました。そしてこんにちまで、そのことが私を苦しめます。”キリストが教会を愛されたように、妻を愛しなさい。”それだけで私たちは立ち止まるべきです。というのも、考えてみれば、イエスは、教会の時代を通して、教会を愛しておられます。そして今、私たちはラオディキヤの時代に生きています。主の愛は、今も教会に向けられているのです。それを考えてください。夫の皆さん。主の愛は、教会が主に応えたからではありません。違います。イエスの教会への愛は、御父への従順な真の愛です。私たちは、妻に接するすべての場面で、そのような見方をする必要があります。相手の反応を見ているなら、問題が起こります。困ったことになりますよ。お～何という事。それをしないでください。命を守るのです。救うのです。

次のようになってしまいます。：「なあ、今日はジェニファーのために何かいいことをしようと思っているんだ。そうしたらさ、そうすればきっと、ああ、神は気に入るだろうし。かっこいい！そうしよう。」家に帰って、そういうの全部やると、妻はこんな風です。「もう寝るわ。」「僕はこんなことまでやってたんだぞ！」お～なるほど。問題が分かります。妻のためにやっている。ふーん。それは問題ですね。すべてのことを主に向けてして下さい。それが物事を変えます。あなたの反応がどうのこうのということではありません。ええ今日、嫌なことがあったんでしょう。「主よ、私はあなたに従順でした。このままやり通します。」そういう見方をすべきなのです。これがその内容の一部です。今の教会がおかしくなっても、キリストはまだ教会を愛しておられます。でしょ？ それが、私の道を切り開くきっかけとなり、視点を変えてくれました。神の御霊の御力によって、私のうちに本当に働いていただきました。敬虔な男性になることを目指しながら。敬虔な男性になるのに、またはあなたの中のそのプロセスを神に任せるのに遅すぎるといふことはありません。悲惨な者から学ぶ。遅咲きです。私は、神がしてくださったこと、今もしてくださっていることに、心から感謝します。私は完璧ではないし、その完璧な日までは、私は決して完璧ではありません。でも、それまで祈ります。主が私に罪を示し続けられ、私を”主のために”より良い男性にしてくださるのを。もし私が神が望まれる男性であるなら、他のすべてが整うのです。すべて揃います。悲しいかな、私たち男性は、往々にして自分の弱さに甘んじてしまうものです。私たちはそうなんです。キリストは教会を愛されました。いいですか？ 教会のために命を捧げられました。それはある程度、何を示しているのでしょうか。主は教会に何をされるのか？ 教会のために備えてくださいますね。時代を超えて、こんにちに至るまで、主が提供者です。主の御言葉がそう仰います。私たちは提供者であるべきですよ。当然ながら、敬虔な男性として自分の妻に。しかし、私たちはその弱さに屈してしまいます。そう、それをしないなら、主のような提供者になるのではなく、悪魔のように支配する提供者になってしまいます。聖書には、私が見たところ、人の子が、教会のためにしていることを、私たちの頭上に掲げ、私たちを支配するという箇所はどこにもありません。皆さん聞いてますか？ そんなこと聖書にありません。イエスは教会を愛しておられるので、教会を養っておられます。神に仕える者として、私たちも同じことをしなければならぬのです。私たちは、妻に対する提供を支配のメカニズムとして使ってはなりません。それは恐ろしいです。夫として最も恥ずべき行為です。かつての私がそうであっ

たからこそ言えるのです。

「何度自分は周りを飛び跳ね回ったんだ。私は働いている。あんな時間を過ごしたじゃないか。私があればこれでもやった。誰が気にするんだ？」自分がこれをわかっていたなら、落ち着いて、恥じ入っていたでしょう。妻がこれに値しないかのように 彼女にその価値がないかのように支配する事。それは病気です。間違っています。もしもそれがあなたなら、神を求めてください。神の御言葉の権威の下、これがどんなに悪いことなのか、お見せしましょう。

I テモテ 5

8 もしも親族、特に自分の家族の世話をしない人がいるなら、その人は信仰を否定しているのであって、不信者よりも劣っているのです。

「お～私は彼女に食べ物と住まいを与えた。」本当に？ なるほど、生きるために必要な最低限ですか。彼女を縛り人参をぶら下げる。神が見ておられないとも思っているのですか？ お～神は見ておられます。あなたも注意してください。私がそうであったように。私たちの仕事は、提供するための手段です。妻や家族を養うことは、愛と従順さから行われるべきです。支配的な対応ではなく。イエスは他に何を示されていますか。私たちの主は、教会の保護者でもあられます。そうでしょうか？ 同様に、敬虔な男性は妻の保護者です。今や当たり前のことかもしれませんが、この保護がどのようなものか、私たちは本当に分かっているのでしょうか？ なぜなら、これは単なる物理的な保護ではありません。これはまた、おそらくもっと重要ですが、霊的な保護を表しています。しかし、こんにちの私たちはどうでしょう？ まず、、この教会は、男性が多く、非常に感謝します。そのことに主を褒めたたえます。しかし、こんにちの多くの教会で皆さん、どうですか？ 会衆席は女性で満杯。というのは、男が働いているからではありません。彼は他のことを優先しているのに、まだクリスチャンと自称しています。お～聖徒の集会ですか？ お～それは、女性と弱い男性でどうぞ。これ以上、真理から遠ざかることはありません。偽りの父からの嘘です。神の男として、私たちはこの務めをリードし、祈りに導き、神の御言葉を学び、学んだことをすべて妻と話し合うべきなのです。それを学ぶ妻は、男性を尊敬します。起こり得る最悪なのが 彼が聖書を開いて、まだよく理解できないでいるとき始まります。「よけいな世話。」お～それは第二礼拝で話します。(笑) でも、これは男としてやるべきなんです。家庭で霊的にリードする必要があります。これは奥さんを守るため、私たちを守るため、家族を守るためです。それが私たちの仕事、敬虔な男性としての責務の一端です。すると敬虔な女性は応答します。彼女たちはします。彼女たちは、私たちの信仰の強さを知るべきなのです。それが彼女たちの信仰を強くします。聖霊の御力によって、このような覆いを持つようになるはずですが。また主は、教会に情熱を注いでおられます。でしょ？ 同様に私たちは、妻たちに情熱を注ぐべきです。イエスは教会に命を捧げられました。こう言えます。教会のために、ご自分の命を諦められました。それを考えてみて下さい。妻の人生のために、私たちは何を諦めたのでしょうか。何かありますか？ 私たちはこんな風に情熱的でしょうか？ これこそ、究極の情熱の表れです。私たちは、妻に対して同じような情熱を持つことを求められています。それは、物理的なだけでなく、感情的につながっています。それは激しく、誠実であるべきで、不変であるべきです。このように命を捨てるということは、どうあるべきなのでしょう。これは、自分自身に死ぬことの一部でもあります。事実、これが最も男らしい死に方と言えるでしょう。妻の命のために自分に死ぬのは、本物の男でなければできないことだからです。追い求めた物は、もう意味を持ちません。私には使命があります。その使命とは、キリストが教会を愛されたように、妻を愛することです。すべては御父と、私たちの救世主イエス・キリ

ストに従順であることの表れです。夫としてキリストに倣いたいなら、これが始める良いところです。でも、それだけでは終わりません。それは、主が私たちのために来てくださるまで続きます。ですから私たちは、従順である必要があります。娘を持つ父親の方、自分自身に聞いてください。娘にどんな男性と一緒にいてほしいですか？ 娘さんはあなたを見て、あなたのような男性がいいと言うのでしょうか？ 息子さんはどうですか？ 今すぐ実行してください。今すぐ。私の息子たちは成長し、自分のやり方ももう定着しています。彼らは私がした通りに見えます。それが私を粉々にします。聖書の中で、あまり注目されていない書に「ソロモンの歌」があります。読んだことがない人は、是非お勧めします。特に男性陣にはぜひ読んでほしいです。妻たちは注目を必要としていることを教えてください。JD 牧師がこのことを話するとき、女性が必要とする「3つのA」、注目/attention、肯定/affirmation、愛情 affection について話しますね。妻への気配り（注目）が必要です。5分会話し、ドアから飛び出ていくようなものではありません。違います。気配りが必要なのです。彼女が最優先で、それを知ってもらう必要があります。いろいろな見方がありますが、皆さんがポイントを分かるのを願います。魅力的で、焦点を絞ったものでなければなりません。その繋がりが必要で、聖霊の御力によって効果があります。幾人かの方はこう仰るかもしれません。「君は、私の妻をわかってないんだよ。」「どういうこと？」「僕が妻に話すってか？ 彼女は僕が死ぬまでしゃべるよ。」ええ、それが自分自身に死ぬことの一部です。—(笑)— でしょう？ 本当にそうなんです。いろいろな取り組み方があるんです。祈りから始めてください。次に、妻たちは「肯定」を必要としています。彼女らは、自分たちがどのような立場なのかを知る必要があります。妻は、夫と一緒にどの立場にいるのかを知らなければなりません。彼女が特別なのです。彼女に匹敵する人は誰もいません。彼女はそれを知る必要があります。敬虔な男性は皆、神を第一に考え、妻は、ちょっと離れて2番目です。しかしこの地上では、妻が No.1 です。その後、母親、父親、従兄弟、伯父、友人、ペット.....何でもいいです。聖書が語ります。

「それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。」(創世記 2:24)

義母は含まれません。—(笑)— だからといって、家族と縁を切るという意味ではありません。違います。主が導かれる通り、これからも大事にし、自分の家族の絆を大切にしてください。要点は分かりますね？ その肯定が疑われるような事態は、奥さんと話し合う必要があります。彼女はそれを獲得しました。そして、彼女に示す必要があります。人は伝えるべきだと信じます。彼女があなたとの立場を知るべきだけでなく、他の人たちとの関係もです。そして時間が経てば、それがわかるはずで、本当に自分の妻を大事にすると、彼女はあなたと一緒にいて安心します。敬虔な男性は、妻を肯定します。最後に、神に仕える者として、妻に愛情を示すことが必要です。愛情はさまざまな形で与えられます。あらゆる面で 妻に愛情を示すことが必要です。これに関して、私が最も印象的な事の1つは70歳、80歳になっても手をつないだり、抱き合ったり、キスをしたりしているご夫婦。なんと印象的か。20代、30代のクリスチャンで、それすらしない人がいるんです。さらに悪いことに、、私はクリスチャンよりも同性カップルの方がもっと愛情を見ます。私たちは何をしているのでしょうか？ 妻の手を握ることは禁止になったのですか？ 今は、何事にも時と場合があります。誤解しないでください。コリント人になって教会に来なさい、みたいな話じゃないんです。でもポイントは分かりますよね？ 妻への愛情は尽きないはずで、年齢を重ねるごとに、より創造的になっていくんです。その愛情は絶対に失ってはいけません。このような愛情を、決して奪ってはならないのです。それは恐ろしい事です。私たちが喜んでることを伝える必要があります。また、良く見せようとする必要がないことも知っておく必要があります。自分らしくな

いのは不要です。私はちょうどいいんです。あなたはあなたのままで良いのです。彼女たちは年齢を重ねる通りに知る必要があります。ワインと同じです。ますます良くなります。それが敬虔な男性としてなすべきことなのです。「箴言 5 章 18 節から 19 節」神の御言葉をお読みします。

箴言 5

18 あなたの泉に祝福を受けさせ、あなたの若い時の妻を楽しめ。

19 彼女は愛らしい雌じか、美しいしかのようだ。いつも、その乳ぶさをもって満足し、その愛をもって常に喜べ。

ずっとです。65 歳までではありません。社会保障費をもらったら、すべての愛情が停止？ 違います。いつも、その愛をもって常に喜べ。魅了されるような、という意味です。それが、私たちのあるべき姿です。それについて、考えてみてください。敬虔な男性について話したことはすべて、真の生ける神を敬うことです。そして、そのことが、神が定めた妻や家族を大切にすることにつながるはずで、これを怠ると、私たちには到底対処できない大変つらい結果になります。「第一ペテロの手紙 3 章 7 節」神の御言葉をお読みします。

I ペテロ 3

7 同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。また、いのちの恵みをともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたがたの祈りは妨げられません。

神のみことばの権威で、私たちの祈りの妨げは、妻をどのように敬うか、あるいは敬わないかにつながっていると頂きます。聞いてますか？ これは、私たち男性にとって、常に身の引き締まる思いがするはずで、皆さんのためだけでなく、私のためでもあるのです。私たちは、きちんと彼女らに接するのです。それが聖書に従う事です。今、頭を下げろというのがこの全ての要点、目的ではありません。私たちは、神の聖霊にこれを実現していただく必要があるのです。自分の力でやろうとするのはやめてください。神の御言葉に入ってください。それが男らしく、敬虔な男性になる方法です。

ご起立ください。カポノ、賛美で私たちを祝福してください。祈りましょう。

天のお父様。私は、あなたに言われたことをやりました。私がどんなミスしたとしても、あなたの聖霊の御力によって、聞かれた人をあなたが正して下さり、私たち全員の心に入るようにして下さることを私は知っています。私たちのため、それが必要であり、これまで以上にそれが必要です。その為に、あなたに感謝します。主よ、誰も心が動かなくても、私は自分の心が動いたのを分かっています。あなたの真理の御言葉にとっても感謝します。私たちはあなたを愛し、あなたに感謝します。あなたが私たちを変え、私たちを守ってください。私たちをフィラデルフィアの教会のようにして下さいますように。救世主イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7